

# 届出

[平成21年度設置]

計画の区分：学部設置

南九州大学 環境園芸学部

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 南九州学園  
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 カクムフチョウ 学務部長 ナカムラ 中村 ミノル 稔

電話番号

（夜間）

F A X

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

# 目 次

1. 調査大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況, 経費
4. 既設大学等の状況
5. 教員組織の状況
6. その他全般的事項

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 南九州学園

## (2) 大学名

南九州大学

## (3) 大学の位置

〒885-0035 (〒880-0032)

宮崎県都城市立野町3764番地1 (宮崎県宮崎市霧島五丁目1番地2)

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(シブヤ ヨシオ) 澁谷 義夫 (平成9年4月)	(ハセガワ ジロウ) 長谷川 二郎 (平成21年4月)	理事互選による 平成21年4月1日 (21)
学長	(シブヤ ヨシオ) 澁谷 義夫 (平成9年4月)	(ハセガワ ジロウ) 長谷川 二郎 (平成21年4月)	任期満了による 平成21年4月1日 (21)
学部長	(ヤマグチ マサアツ) 山口 雅篤 (平成21年4月)		
学科長等	(ヤマグチ マサアツ) 山口 雅篤 (平成21年4月)		

(注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
環境園芸学部 環境園芸学科  学士(農学)	4年	130人	年次 - 人	520人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	( - ) - 人	( - ) - 人	130人 ( - )	( ) 人	0.84倍	
	志願者数	( - ) -	( - ) -	( - ) 162	( )		
	受験者数	( - ) -	( - ) -	( - ) 160	( )		
	合格者数	( - ) -	( - ) -	( - ) 159	( )		
B	入学者数	( - ) -	( - ) -	( - ) 109	( )		
	入学定員超過率 B/A	( - ) -	( - ) -	( - ) 0.84	( )		

- (注) 1 ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

学年	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] 109	[ ]	
2年次		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ ]	
3年次		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ ]	
4年次		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ ]	
計		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] 109	[ ]	

- (注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してくだ

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
○○研究科 ○○専攻(○○課程)  修士(○○) 又は 博士(○○)	年	人	人	基礎となる学部等

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	( )人	( )人	( )人	倍	
	志願者数	( )	( )	( )		
	受験者数	( )	( )	( )		
	合格者数	( )	( )	( )		
B	入学者数	( )	( )	( )		
	入学定員超過率 B/A	( )	( )	( )		

- (注) 1 ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備考
1年次		[ ]	[ ]	[ ]	
2年次		[ ]	[ ]	[ ]	
3年次		[ ]	[ ]	[ ]	
計		[ ]	[ ]	[ ]	

(注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	[ - ] %
	うち平成19年度入学者 - 人	うち平成19年度 - 人	0 %
	うち平成20年度入学者 - 人	うち平成20年度 - 人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 109人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<環境園芸学部 環境園芸学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間と文化	フレッシュマンアワー	1前	1									
	言葉と文章	1後 <del>1前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
	心理学概論	1後 <del>1前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
	哲学	1後 <del>1前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
	倫理学	1後		2								
	宗教学	1前 <del>2前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
	美術史	1後 <del>1前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
生活と制度	歴史と現代	1前		2								
	歴史と社会	1後		2								
	日本国憲法	1後 <del>2前</del>		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
	社会学	1後		2								
	経済学	1前		2								
科学と現代	生物学の基礎	1前		2		1						兼任教員の都合により、専任教員に変更(21) 担当 山口雅篤(教授)
	生物の世界	1後		2								
	化学の基礎	1前		2								
	化学の世界	1後		2								
	物理学の基礎	1前		2								
	物理の世界	1後		2								
	地学の基礎	1前		2								
	地学の世界	1後		2								
	統計学	1後		2								
	数学	1後		2								
	情報処理論 I	1前・後		2								
情報処理論 II	2前・後		2									
外国語	英語コミュニケーション I	1前 <del>2前</del>		2 4								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
		1後		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
	英語コミュニケーション II	<del>2後</del>		4								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	保健講義	1後		2								
	体育実技	1通		2								
専門基礎科目	環境園芸概論	1前	2			6 3	1					教育効果に配慮し、専任教員を追加(21) 担当 渡辺昭治(教授), 杉本和宏(教授), 平岡直樹(教授), 徳原隆(准教授)
	環境園芸実験実習 I	1前	2			2	1					
	環境園芸実験実習 II	1後	2				3					
	環境科学	1後	2									
	生命科学	1前 1後	2			1						教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
	植物資源科学	1後	2			1						
	技術者倫理	1後	2									
	専攻演習 I	3後	2			9	9	3				
	専攻演習 II	4前	2			9	9	3				
	専攻演習 III	4後	2			9	9	3				
卒業論文	4通	6			9	9	3					
専門教育科目	植物学	1前		2		1						
	環境気象学	1前		2								
	微生物学	1前		2			1					
	樹木学	1後 1前		2			1					教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
	植物生理学	1後		2		1						
	土壌学	1後		2				1				
	造形デザイン演習	1後		2								
	作物栽培学	1後		2		1						
	博物館学概論	1後		2		1						
	学外研修(環境園芸)	2前		2		1	1					他学部科目との区別のため、科目名を変更(21)
	アグリビジネス論	2前		2								
	遺伝育種学概論	2前		2		1						
	園芸生産環境専門実習	2前		2		2	2	1				
	ガーデニング概論	2前		2			1					
	花卉園芸総論	2前		2			1					
	果樹園芸総論	2前		2								
	環境アセスメント論	2前		2								
	環境保全型農業論	2前		2		1						
	環境緑地論	2前		2		1						
	基礎製図実習	2前		2				1				
グリーンツーリズム論	2前		2		1							
昆虫学	2前		2			1						
細胞工学	2前		2		1							
自然環境実習	2前		2			1						
植物生態学	2前		2									



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育科目	植物病理学	2前		2			1					
	生物化学	2前		2		1						
	造園植栽論	2前		2			1					
	測量学Ⅰ	2前		2			1					
	測量学実習Ⅰ	2前		2			1					
	蔬菜園芸総論	2前		2			1					
	地産地消論	2前		2		1						
	農産物流通原論	2前		2			1					
	ビオトープ論	2前		2			1					
	フラワー実習	2前		2			1	1				
	遺伝子工学	2後		2			1					
	園芸生産環境実験	2後		2		2	2	1				
	ガーデニング実習	2後		2			1	1				
	花卉園芸各論	2後		2			1					
	花卉専門実習	2後		2			1					
	果樹園芸各論	2後		2								
	環境哲学	2後		2					1			
	環境農業経営論	2後		2		1						
	環境保全園芸論	2後		2		1						
	環境保全専門実習	2後		2		1	1	1				
	コンピュータ演習	2後		2			2					
	細胞・分子生物学実験	2後		2		1						
	作物学各論Ⅰ	2後		2		1						
	作物専門実習	2後		2		1						
	自然緑地計画論	2後		2		1						
	自然緑地計画論演習	2後		2		1						
	樹木医学	2後		2			1					
			3前									
		植物バイオテクノロジー	<del>2後</del>		2		1					教育効果に配慮し、配当年次を変更 (21)
		植物バイオテクノロジー実験	2後		2		1					
		植物分類学	2後		2							
		森林政策学	2後		2	1						
		世界の庭園と歴史	2後		2	1						
		造園材料施設論	2後		2		1					
		造園緑地実験Ⅰ	2後		2		1					
		総合防除論	2後		2		1	2				
		測量学Ⅱ	2後		2							
		測量学実習Ⅱ	2後		2							
		蔬菜・果樹専門実習	2後		2			1				
		蔬菜園芸各論	2後		2			1				
	庭園学	2後		2			1					
	庭園学演習	2後		4			1					
	動物生態学	2後		2			1					
	土壌学各論	2後		2				1				
	農業協同組合論	2後		2								
	農産物流通論	2後		2			1					
	水辺環境論	2後		2		1						
	博物館学各論	2通		4								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	教育学概論	2後		2								
	遺伝子工学実験	3前		2			1					
	園芸療法実習	3前		2					1			
	園芸療法論	3前		2					1			
	ガーデニング植物材料論	3前		2			1					
	環境関連法	3前		2					1			
	環境教育実習	3前		2								
	環境植物論	3前		2								
	環境調査及び再生論	3前		2			1					
	景観論	3前		2			1					
	コンピュータ・CAD演習	3前		2						1		
	作物学各論Ⅱ	3前		2			1					
	敷地計画論	3前		2					1			
	敷地計画論演習	3前		4					1			
	自然体験実習	3前		2								
	種苗生産学	3前		2				1				
	植物育種学Ⅰ	3前		2			1					
	植物生殖・発生学	3前		2			1					
	造園管理学	3前		2					1			
	造園施工実習	3前		2			1					
	造園緑地実験Ⅱ	3前		2					1			
	造園緑地実習	3前		2						1		
	地域計画論	3前		2			1					
	動物分類学	3前		2					1			
	熱帯植物論	3前		2								
	農業機械学	3前		2								
	農産物貿易論	3前		2					1			
	農村調査実習	3前		2			1	1				
	肥料学	3前		2						1		
	分子育種学	3前		2			1					
	保全生物学	3前		2								
	水辺環境論実習	3前		2	1							
	緑化学	3前		2			1					
	農業史	3前		2	1							
	生涯学習概論	3前		1								
	アジア農産物貿易論	3後		2			1					
	インターンシップ	3通		2			1	1				
	園芸利用学	3後		2			1					
	ガーデニング特別実習	3後		2				2	1			
	環境緑地論実習	3後		2			1					
	建築学概論	3後		2						1		
	国外研修	3通		2						2		
施設園芸学	3後		2					1				
植物育種学Ⅱ	3後		4			1						
生体成分分析実験	3後		2			1						
生物統計学	3後		2			1						
造園管理学実習	3後		2					1				
動物生理学	3後		2					1				
都市計画論	3後		2			1						
都市緑地論	3後		2					1				
都市緑地論演習	3通		4					1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	農業機械実習	3後		1								
	農業法人論	3後		2	1							
	農薬科学	3後		2	1							
	ハーブ園芸論	3後		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1						
	盆栽論	3後		2								
	応用数学	3通		4								
	博物館実習	3通		3								
	視聴覚メディア論	3後		1								
	科学英語	3後		2		1						

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
12	160	0	172	12	160	0	172	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	フィールドセンターを 整備		
	校舎敷地	40,796㎡	0㎡	0㎡	40,796㎡			
	運動場用地	18,140㎡	0㎡	0㎡	18,140㎡			
	小 計	58,936㎡	0㎡	0㎡	58,936㎡			
	そ の 他	35,066㎡ 7,186㎡	0㎡	0㎡	35,066㎡ 7,186㎡			
	合 計	94,002㎡ 66,122㎡	0㎡	0㎡	94,002㎡ 66,122㎡			
(2) 校 舎	専 用	19,064.05㎡	0㎡	0㎡	19,064.05㎡			
	( 19,064.05㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 19,064.05㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]
	冊	種	点	点	点			
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]			
計	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	㎡							
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	513千円	513千円	図書購入費	35,000千円	3,000千円	3,000千円
	共同研究費等	1,064千円	3,541千円	設備購入費	100,000千円	25,000千円	25,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,300千円	1,068千円	1,070千円	1,080千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経費補助金、資産運用収益、雑収入 等						

(注) 1 届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

2 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	南九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
園芸学部 園芸学科	4	—	—	—	学士（農学）		昭和42年度	宮崎県児湯郡高鍋町大字南高鍋11609	
環境造園学部 造園学科	4	—	—	—	学士（農学）		平成14年度	宮崎県児湯郡高鍋町大字南高鍋11609	
地域環境学科	4	—	—	—	学士（農学）		平成14年度		
健康栄養学部 管理栄養学科	4	60	—	240	学士（栄養学）	0.92	平成15年度	宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2	
食品健康学科	4	40	—	160	学士（食品学）	0.73	平成15年度		
大学の名称	南九州短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
国際教養学科	2	110	—	220	短期大学士（国際教養）	1.28	平成15年度	宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

（大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

2 設置届出書の様式第2号（その1）に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<環境園芸学部 環境園芸学科>

### (1) 担当教員表 (共通)

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	長谷川 二郎	平成21年4月	生物学の基礎 生物の世界 環境科学 博物館実習 植物分類学 環境植物論	専任	教授	山口 雅篤	平成21年4月	生物学の基礎	担当辞退(21)
兼任	准教授	山里 哲史	平成21年4月	保健講義 体育実技	兼任	教授	西村 盛正	平成21年4月	保健講義 体育実技	平成21年度開設予定の学部が開設できなかったため未就任(21)
兼任	講師	平野 順也	平成22年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	スモール プライツ	平成21年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	平成21年度開設予定の学部が開設できなかったため未就任(21)
兼任	講師	長谷川 武夫	平成21年4月	物理学の基礎 物理の世界	兼任	講師	若生 潤一	平成21年4月	物理学の基礎 物理の世界	就任辞退(21)
兼任	講師	大賀 郁夫	平成21年4月	歴史と現代 歴史と社会	兼任	講師	田村 理恵	平成21年4月	歴史と現代 歴史と社会	就任辞退(21)
兼任	講師	中林 健一	平成21年4月	化学の基礎 化学の世界	兼任	講師	國府 俊則	平成21年4月	化学の基礎 化学の世界	就任辞退(21)
兼任	講師	金 湛	平成21年4月	統計学 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ	兼任	講師	古藤 総一郎	平成21年4月	情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ	担当辞退(21)

### (1) 担当教員表

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専任	准教授	徳原 隆	平成21年4月	環境園芸実験実習Ⅱ ガーデニング実習 ガーデニング概論 造園材料施設論 造園管理学 造園管理実習 ガーデニング特別実習  専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文						フラワー実習 平成22年4月から立澤文見准教授 辞任のため、担当科目を追加 (21)

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	准教授	立澤 文見	平成21年4月	ハーブ園芸論 フラワー実習 ガーデニング植物材料論 ガーデニング実習 ガーデニング特別実習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文	専	講師	林 典生	平成21年4月	ハーブ園芸論 ガーデニング 植物材料論	平成21年3月 立澤文見准教授辞任のため 平成22年度より担当者の変更(21) 「フラワー実習」「ガーデニング実習」「ガーデニング特別実習」は他に担当教員が2名いるため、支障はない。	
専	講師	林 典生	平成21年4月	ガーデニング実習 園芸療法実習 園芸療法論 フラワー実習 ガーデニング特別実習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文					ハーブ園芸論 ガーデニング 植物材料論	平成23年4月から立澤文見准教授辞任のため、担当科目を追加(21)	
専	講師	柳 由貴子	平成21年4月	土壌学 土壌学各論 肥料学 環境保全専門実習 園芸生産環境実験 園芸生産環境専門実習 国外研修 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文						准教授	平成21年4月から准教授へと職位変更(21)

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	9	3		21		9	9	2		20		
(9)	(9)	(3)	( )	(21)	( )	[0]	[0]	[Δ1]	[ ]	[Δ1]	[ ]	

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	准教授	立澤 文見	他大学への就任
2			
3			



#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学部設置届け出後の専任教員交代は望ましくないと思慮されるが、本人の意向を尊重した結果の措置である。担当科目については教育に支障のないよう対処する。  
学生へは前期開講前のオリエンテーションで周知した。

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、設置届出書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。  
なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 2 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - 3 辞任者は「備考」欄に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - 4 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - 5 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。
  - 6 「(2) 教員数」の「届出時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。  
(記入例：1名減の場合：△1)
  - 7 「(3) 専任教員辞任等の理由」欄には、届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
  - 8 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 その他全般的事項

<環境園芸学部 環境園芸学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目27単位, 選択科目328単位  ② 施設・設備  a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 変更なし  ② 届け出時の計画は記入の必要がなかったが、概要は以下の通りである。 a 講義室12室 (1,666㎡) b 自習室2室 (80㎡) c 図書112,418冊 (大学全体)

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD推進委員会 (※関係規程等を転載又は添付すること) b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) FD推進委員会 平成21年5月12日 (火) (教員12人参加) 平成21年6月 2日 (火) (教員12人参加) 作業部会 平成21年6月15日 (月) 平成21年6月22日 (月) 4つのテーマごとに部会があり、各部会とも3人の教員が振り分けられている。 c 委員会の審議事項等 FD推進委員会 平成21年5月12日 (火) 委員長の選任、活動方針の確認。 平成21年6月 2日 (火) FD実施項目の確認、4つ作業部会の発足。 作業部会 平成21年6月15日 (月) 3つの作業部会を実施、各作業部会とも作業部会ごとのFD案の検討。 平成21年6月22日 (月) 1つの作業部会を実施、各作業部会とも作業部会ごとのFD案の検討。
---

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

- ・ 新任教職員オリエンテーション
- ・ 教科書作成

b 実施方法

- ・ 新任教職員オリエンテーション  
新任教職員を集合の上、本学の沿革、教育研究の理念等を周知し、資質向上の一助とする。
- ・ 教科書作成  
教育効果に配慮し、教員自身が教科書を作成し、学生に無償で配布する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 新任教職員オリエンテーション  
平成21年4月1日（水） 新任教職員対象者3人。
- ・ 教科書作成  
毎年全学的に実施するが、平成21年度は3教科作成（教員2人）。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現在のところ取り組んでいない。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、これまでに農学系の学部として園芸学部と環境造園学部を、家政系の学部として健康栄養学部を設け、食・緑・環境をキーワードに掲げて、大学の教育・研究を展開してきた。しかし、農学の学際化が進展する中で、今日の時代の流れと社会のニーズに対応するために、新たに農学系の学部について「環境科学」「生命科学」および「植物資源科学」の3つの柱を学問体系の中心に位置付ける必要がある。これらの学問を考究しながら、21世紀の諸問題に対処していく科学技術と「技術者倫理」を身につけ、新たに「食・緑・人」のキーワードを設けて、自然や生物との共存の重要性を深く認識した感性豊かな人材の育成を目指す。この目的のために、従来の園芸学部と環境造園学部の2学部を統合して環境園芸学部とし、これまでの学部・学科間の壁を超えて教員を結集して、「環境科学」の必要性を共通認識として人と自然の調和について追求する。また、植物の有する能力について「植物資源科学」を駆使し、「生命科学」の新しい知識と手法（バイオテクノロジー）を取り入れ、食糧問題、エネルギー問題、環境問題等に対処できる、学部の統合・改組を行う。

農学系の単科大学として学科を増設しながら細分化した専門に特化してきたが、その反省から、広い視野を持った学生の人材養成の目的として、これまでの学科をまとめて環境園芸学部で改組した。全ての学生が低学年教育（1年前期から2年後期）の間に、本学がこれまでに培ってきた農学系の広い学問分野に触れた後、2年後期より専攻の分野を選択することにした。本学が位置する南九州地域において、農学系の広い視野をもった園芸、バイオサイエンス、造園、環境及び農業経済の関連分野の専門職業人を送り出すことは、実学に強く、専門性の質的に高い人材供給の面から地域社会に貢献できるとも思われる。

本学は、今日まで継承してきた基本的理念として、「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境の中で、創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間の育成をするとともに食、緑、環境に関する基礎的、応用的研究をすすめる、専門分野において社会に貢献できる人材を育成する」を掲げている。

今回の改組では、本学のこの基本的理念を継承して、これまでに得られた研究・教育の成果を踏まえて、更なる実学的な研究・教育を押し進めるために、学部・学科の関係を整理して、横断的な教員の配置を行い、1学部1学科に結集して、「環境科学」「生命科学」および「植物資源科学」の3つの柱を学問体系の中心に位置づけ、これに人として必要な社会規範を身につけるために必要とされる「技術者倫理」を加味した。こうした再編の下、21世紀の諸問題に対処していく科学技術と技術者倫理を身につけ、自然や生物との共存の重要性を深く認識した人間性をもつ社会に貢献できる人材の育成を目指す。環境科学を中心に据えて、自然と人の調和を共通認識とし、環境に負荷をかけないで持続できる循環型社会の実現に向けて、植物に係わる農学系の分野の技術の習得に力を入れ、社会に貢献できる視野の広い園芸、造園、環境の専門職業人を養成する。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・公表未定

##### b 公表方法

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成19年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け、基準を満たしていると認定された。

#### (4) 情報提供に関する事項

##### ① 設置届出書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成21年 9月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(http://www. ) ※現時点では未定

##### ② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 平成21年 9月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(http://www. ) ※現時点では未定

(注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secci@mext.go.jp](mailto:d-secci@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。